

## 製造業

- ◇パン…10月は大きな台風があり仕事は半減、原料も値上がりしダブルパンチ状態である。学校給食においては十分な清掃手入れを心掛けているが例年にならぬ異常気象で網戸をすり抜ける虫等も発生し対応に苦慮している。子供達の食育の一環として組合員全体で頑張っているところである。
- ◇酒…9月の課税移出数量は前年比92.2%と前年比マイナス。特定名称酒は堅調な伸び。全国的に輸出免税数量は毎年増加しており好調。焼酎乙類は落込傾向にあったが9月は104.5%と回復。国際空港免税エリアでの國酒キャンペーンが10月からスタートし売れ筋は高級酒。大手が10月からの値上げを発表、地酒も特定名称酒の値上げが追随している。当県蔵元では一律値上げではなく、特定名称酒等の付加価値の高い商品が値上げ傾向にある。
- ◇納豆…原発事故の風評被害の補償を受けてきた中小メーカーが本年3月から補償がストップしたまま問い合わせでも返答もないことがわかった。水戸以北のメーカーにとっては売上回復できないうちに、原材料、光熱費の高騰、消費増税など価格改定できないまま、経営に対する持続意欲が低下している。
- ◇菓子…陽気も締め、店頭では栗を素材にした和菓子の売れ行きが良くなった。各地で開催されたイベントの売れ行きもまずまずで景況は強含みであった。
- ◇繊維製品(袋物)…10月は特に大きな動きなし。各社受注もあり、順調に推移している様子。11~12月はフル生産時期なのでさらに期待したい。
- ◇繊維製品(縫製)…業況の好転はみられず、受注量は昨年並み。年末にかけての受注増に期待している。
- ◇木材…住宅需要は、消費税に伴う駆け込みで、大手ハウスメーカーは忙しい状況。地場の工務店は見積もり依頼も少なく、増改築の仕事中心となっている。加工先のプレカット工場は忙しい状態が続いている。前月からの原木価格の上昇により製品価格も国産材、杉、檜を中心に格差はあるが、値上がり傾向が見られた。原木高の製品安傾向。
- ◇プレカット…10月は目標を達成。11月も中旬まで予定が入っている。国産の乾燥材が不足しており、納材されるのか、予定日近くの納期に合わせるのに苦慮。
- ◇段ボール…大手企業は悪くないようであるが、我々中小は、量的にも増えず、前月並みをキープするのがやっとで、前年より悪いという組合員もいる。また台風により青果物に影響が出始め、段

ボールの出荷量も少なくなった。いまひとつ景気の力強さが感じられない。

- ◇総合印刷…景況は改善の兆しがみられない。春に続いて用紙等の値上げが発表されたが、値上げ分の価格転嫁がままならず、採算は悪化している。
- ◇プラスチック…一部に好調な企業があるものの全体としては不変。
- ◇焼物…夏が過ぎ、過ごしやすい季節になり、お客様の入れ込みも少しずつではあるが多くなってきている。
- ◇鍍金…受注・生産ともに前年比微増。11月以降は前年比同水準か減少が予想される。特に自動車・建機・家電業界の受注量減少の影響が大きく、この分野の得意先を持つ会社は苦境。また建設資材についても一時期ほどの活況はない。金属材料、工業薬品ともに安定。冬期の電気料金・灯油・燃料代の増加が経営を圧迫させることが予想される。
- ◇電化機器…当月の生産高は、対前年同月比で149百万円(17.7%)増となる988百万円。前月比でも97百万(10.9%)増加となった。自動車関連・家電関連共に第二四半期後半における生産高が確保され、雇用人員も僅かではあるが増加の兆しが見られる。
- ◇自動車部品…一部企業に好転の兆しは見られるものの、依然として昨年、一昨年の水準を大きく割り込んでいる状況。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中4社が売上増で、3社が若干の売上減となり、全体では前年同月比129%と得意先の販売好調に同調した売上増となった。更に、下期増産に向けての計画見直しの話も出ており大きな期待が持たれる。

## 非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比23%の減少。マンション等の建築工事の減少から大幅減となった。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比0.41%減。10/19(土)に水戸市場「みとっぼわくわく感謝市」を開催し、一般市民へ水戸市場のアピールに努めた。
- ◇食品卸売…台風や長雨の影響で、前月に続き野菜全体が前年に比べ単価高となり、特に大根・キャベツ等の大物野菜が高値となった。今後の単価の推移及び消費動向を注視していきたい。
- ◇県南地区卸売…企業間格差はあるも、10月は総じて現状維持で推移している。
- ◇県北地区共同店舗…地元の強みで栄えてきたSCだけに、相次ぐ地元商業者撤退は、常連客離れを呼

- びまさに暗雲低迷。
- ◇**県央地区共同店舗**…消費税増税の話題が先行し、売上昨対比をとることができない。アパレル店舗が開店するので新たな集客を期待している。
  - ◇**県南地区共同店舗**…先月の売上高前年比最低記録を当月さらに更新。天候不順と商業環境の変化が最大の要因。
  - ◇**家電**…消費税引上げを見据えた買い物は、エアコン、冷蔵庫等に若干見られた。組合として全国的にLED推進キャンペーンを展開し、その初月としてスタートしたが、売上の底上げまでは至らず前月比90%、対前年同月比では同水準となった。
  - ◇**中古自動車**…9月は一転し、オークション出品台数は、対前年5.3%増と好転。成約率も対前年7.0%増と高く、収益では800万円以上増加した。しかし、小売は依然厳しい状況が続いている。
  - ◇**石油**…原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は、前年同月比で11円上昇している。依然として組合員の仕入価格を下回るような安値での販売競争が続いているため、廃業・休止等に追い込まれる組合員が増えている。
  - ◇**ホテル旅館**…観光地では週末の天候不良のため、客足は伸び悩んだ。平日の宿泊客は未だに震災前まで回復していない。ビジネス関係では、風評はそれほど感じられないようである。
  - ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車96.8%、軽自動車104.1%となった。
  - ◇**総合建設**…工事のダンピング受注工事と不調入札が混在する状況。下請業者(職人)不足のため、特に建築工事では受注しても工期内完成が難しいため受注できない。土木工事は工事の発注量が少なく、また災害復旧工事では減収減益と各社資金がなく経営が厳しい。当面の工事確保のため機械経費を度外視した受注がダンピング競争となっている。

- ◇**管工事**…新しいポリエチレン管を導入して1年が経過し、在庫数も安定してきたため販売価格を値下げした。
- ◇**交通安全施設**…舗装補修工事件数が増加傾向で、下請工事が増えている。
- ◇**電気工事**…東京電力の委託業務の調査業務は、毎月調査料の減少が続き、調査員の雇用にも影響を及ぼしかねず、運営そのものが困難になってきている。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は低調となっており、その影響で売上高は減少。また、燃料価格は高止まりにあり、依然、収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…秋冬物の切り替え時期のため、衣料品・家電関係・雑貨など動きが盛んになってきた。9月末～10月初めの引越しも平常通り。建材・住宅関係も仕事が続いている。軽油は高止まりで経営は苦しいまま。

H25.10月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況		
		前年同月比		前年同月比		
食料品業		▲	16.7		▲	33.3
その他製造業			0.0		▲	20.0
卸売業		▲	25.0		▲	25.0
小売業(商店街を含む)		▲	18.2		▲	27.3
サービス業			50.0			50.0
建設業		▲	100.0		▲	75.0
運輸業		▲	50.0		▲	50.0
全体		▲	16.3		▲	26.5

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

**正規・非正規社員の研修に、奨励金が支給されます!**

介護施設、運輸業、情報通信業、産業廃棄物処理業など、幅広く活用できます!



**正規(非正規)雇用労働者育成支援奨励金**

- ・介護職員研修など、各業種に特化した研修
- ・情報セキュリティのシステム導入研修
- ・ISO(品質・環境マネジメントシステム)研修
- ・道路交通安全の仕組み導入及び社員研修

中小企業様の支援実績は、県内トップクラスの**500社以上!!!**  
お気軽にお問い合わせ下さい



**株式会社マネジメントセンター**  
茨城県水戸市住吉町97-2 MSKビル2F  
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672  
URL <http://www.isommc.com>  
E-mail [info@isommc.com](mailto:info@isommc.com)